



RI 第 2 6 1 0 地区 井波庄川ロータリークラブ会報

2011-2012 年度 No. 3 3

事務局 〒939-1635 富山県南砺市福光 7336-4 福光会館 3F
ふくみつ光房内 TEL 0763-53-1333 F A X 0763-53-1334、

inashore@athena.ocn.ne.jp

2011-2012 年度 会長 高瀬顕正、幹事 浅田裕二

2011-2012 年度 RI テーマ



「こころの中を見つめよう
博愛を広げるために」
(カルヤン・バネルジー会長)

例 会 記 録

第 1 6 1 1 回例会

平成 2 4 年 3 月 7 日(水)

南砺市井波総合文化センター 2 階第 1 研修室

1. 点 鐘 会長
2. 君が代斉唱
3. ソング 「奉仕の理想」



4. 月結婚記念日：浅田会員（11 日：欠席）中島会員(18 日)三谷会員(20 日)坂井会員(24 日)小西会員(29 日)



5. 米山奨学金授与(会長)：高源さん「今日は2つのことを報告します。2月25日に金沢で行われた奨学生の歓送会に出席しました。もう一つは、就職活動ですが、医者(医学部)の試験に失敗しました。諦めずに次の面接等に頑張っていきます。」
6. 会員卓話：「庄川温泉郷を取り巻く現状と今後の方向性」坂井彦就会員



7. **会長の時間**：今年は12月ごろから気温が低く寒い日が続きました。昨日今日は暖かく、TVでは4月中・下旬の天候だということで、1カ月後が待ち遠しいです。

今日は、皆さんに緊急にお謀りしなければならないことがあります。本来は理事会で決めることなのでしょうが、時間的な余裕がありませんので、例会で私から提案し、お決め頂きたいと思います。それは、東日本大震災の義援金について、2月15日付でガバナー事務所から案内が来ています。復興がままならず昨年に引き続き、ロータリークラブとして継続して援助をし行かねばならないということで今回も義援金をお願い

したいということです。1人当りの目標額は設定せず、自発的な援助をお願いしたいというものです。送金の締切日は3月12日となっており、当クラブも出来ることはしたいと思います。ちなみに近隣のクラブの対応については、南砺RCは1人1000円で、近く会員の方が南相馬市へ行かれるということです。砺波RCは、先週の3RC合同懇親会のニコBOXの8万数千円を3RC連名で、北日本新聞社を通じて送ることになっており、それとは別に砺波RC分として送るそうです。当クラブも1人当たり1000円ということで如何でしょうか。【異議なしの声、多数あり】有難うございます。ご賛同を得ましたので、事務局から送って頂きます(次の口座引き落としの時、一緒に)

次に、中学校と木彫刻訓練校の精勤賞についてですが、該当の学校は5校で、木彫刻訓練校2名、庄川中3名、井波中5名、井口中2名、平中2名であります。手分けして持参したいと思いますので、新世代委員会の皆さんに私から個人的にお願いしますので、よろしく。それから、小西会員がガバナー補佐としていよいよ活動が始まります。立派な名刺も出来上がっており東となみRCと書いてあるので、とてもいいなと思いました。当クラブとして全面的に支援していきたいと思います。坂井さん、後ほど卓話をよろしくお願いします。

8. 幹事報告(代理：斉藤副幹事)：①毎週月初めの例会は、記念のイベントなどがあり、どうしても卓話に食い込みます。提案ですが、この月初めの例会の開始時間を10分早めたらどうかと思います。ゲスト卓話者にも、迷惑がかかることが少なくなると思います。
9. 委員会報告：①出席委員会(水島)：先月の出席報告です。1日：出席15、メーク1、80%、8日：出席14、メーク2、80%、15日：出席12、メーク3、75%、22日：出席15、メーク3、90%、29日：出席15、メーク2、85%、月平均：82%。本日16名出席(80.00%) ②クラブ奉仕委員会(水島)：来週、福野行政センター向いのビジネスホテル村上において、**Fire Side Meeting(FSM)**を行います。18：00から例会、18：30から懇親会を予定しています。出欠表に記入して下さい。③広報委員会(三谷)：友3月号は保

存版の号です。縦書き 14p. の「バナー自慢」に当井波庄川 RC のバナーも掲載されています。記念すべき時期に載せてもらい、皆さん是非この号を保存して下さい。横書き 24p. には、富山シティーRC の「薬都とやまから仮設住宅へ家庭用配置薬の支援」の記事もあります。

10. ニコニコBOX(本日 9 名、13000 円)

高瀬会長: 三寒四温の季節となりました。春の到来が待たれますね。

三谷会員: 結婚祝に感謝。今のところ夫婦健康で円満です。

坂井会員: 結婚祝に感謝。卓話頑張ります。

小西会員: 結婚祝に感謝、今年もカミさんから何かしらおねだりをされる時が近づいてきました。

中島会員: 結婚祝に感謝。ルビー婚です。早いもので 40 年、感謝の日々です。

上田会員: 井波庄川 RC 万歳。幹事・SAA が不在でも大丈夫、最長老の豊介さんが黒板に向う姿がアットホームなうちのクラブを象徴する姿なのかな？それとも愛おしいのかな？

斉藤会員: ようやく我々百姓が待ちに待った春がやってきました。あれから 1 年震災で亡くなられた方々の鎮魂を心から願い、本日の食事の BGM はフォーレのレクイエムを流させて頂きました。

河合会員: 本日早退させて下さい。県議会傍聴ツアーに付き合わねばなりません。

山本会員: 早退します。坂井さんごめんなさい。



卓話「庄川温泉郷を取り巻く現状と今後の方向性」 坂井彦就会員

坂井会員: 昨年の役員改選で、庄川峡観光協同組合の理事長になりました。総会で定款を改正し、旅館と飲食店歯科入会できなかった組合を、小売業、卸売業、製造業、運輸業、またはサービス業まで加入できるように改正しました。その結果、22 会員だったのが 36 会員に増えました。今までの同業的な組合を異業種組合にしたのです。観光は、旅館や飲食店だけではないので、地域の経済の繁栄とか心の豊かさをもたらすような理念や基本方針を決めました。今まで出てくるメンバーはいつも同じで緊張感もなくなり、「なあなあ」みたいな雰囲気もありましたので、それを変えたいと思いました。新しい方が入ることで緊張感も生まれ責任感も出てくるということも目的でありました。

〈今の時代〉

過去の成功体験が通用しない時代

大規模で有名な観光地の衰退

小規模で知られていない観光地が飛躍できる時代

やりようによっては、これからもっともっとお越しいただける可能性は十分あります。組合で、水記念公園の指定管理者を市から委託を受けて運営しています。平成 19 年から施設を運営し、平成 21 年から公園の管理もしています。お陰で毎年売り上げも伸びており、増収増益が続いています。

〈庄川温泉郷の強み〉

1. 環境の良さ 水と緑が豊富で俗化されていない

い。隠れ家的な温泉地。

2. 大都会からのほどよい距離。遠くもなく、近くもなく。
3. 周辺に文化的で質の高い個性的な観光地がある。散居村・井波・五箇山・城端。
4. 小規模性、まとまり。決定が早く、機動力があり、地域全体で動ける。
5. 庄川峡観光協同組合は異業種組合なので、多様性があり幅が広い。

〈旅行スタイルの変化〉

団体旅行	⇒ 個人旅行(家族・友人)
どこへ行くか	⇒ どこで何をするか
物見遊山・宴会	⇒ 鑑賞・体験・学習・癒し
有名な観光地	⇒ 好きな観光地
スポット観光	⇒ 地域観光
非日常性	⇒ 日常の中の非日常性

〈庄川温泉郷の方向性〉

今思っていることは、組合には今まで理念や基本方針はありませんでした。組合の歴史としては、昭和 47 年に組合が出来ました。その前は、飲食店組合とか、商店組合であり、もっと以前、大正時代には芸妓組合などがルーツでありました。それから変化して 100 年近い歴史がありますが、心の拠り所とか、基になるものを作りたいという思いで理念、基本方針を決めました。

庄川郷観光協同組合

基本理念「観光振興によって、地域に経済的繁栄と心の豊かさをもたらします。」

基本方針

1. 私たちはお互いに協力し合い、観光産業に力を尽くします。
2. 組合独自の共同事業を展開し、会員の繁栄と質の向上を目指します。
3. 組合の存続と発展のために、次世代を担う若者の育成に努めます。

水公園も以前から見るとお客さんが増え、落ちるお金も増えました。しかし、自分たちの利益につながっているかということは、なかなか感じられない現状があります。組合は親睦団体ではダメで、やはり利益を追求しなければなりません。共通のロゴマークやキャッチコピー、お土産品

の開発など、これからもっと取り組まなければならないことが沢山あります。

行政主導ではなく、庄川峡観光協同組合が主体性を持って観光振興を行う。

縦型連携から横型連携へ、対等な関係での異業種連携・「産・学・官」連携・他団体との連携・地域間連携など。

別紙の 2 枚目に、2012 年度観光実習がありますが、富山国際大学が庄川温泉郷へ観光実習に来られる内容で、4 月から 7 月まで、庄川を研究します。4 人 1 グループで、9 グループが構成され、女性 30 名、男性 7 名です。某テレビ局にも取り上げて頂くことになり、1 つの番組となる計画があります。砺波市からも予算面での応援があり、産学官の連携ということになります。最終の 7 月 17 日には、プレゼンテーション（ビジョンの発表）が予定されておりますが、夢物語を書くのではなく、ホントにやっていけることをやっていきたいと思っています。

上記のことを踏まえた上で、「庄川温泉郷観光ビジョン（ありたい姿）」を平成 24 年末までに作成し実行していく。

★3 年後の目標イメージとしては、

1. 観光客リピート率富山県 NO.1 規模が小さいので、人数でなく何度でも訪れたくなるような観光地を目指す。
2. 短期滞在型 2～3 泊プランが充実している。旅館・飲食店・周辺観光・文化体験などを組み合わせたもの。
3. 水公園の更なる整備が進み、夜も楽しめるようになっている。ライトアップや夜食の充実。
4. 組合・行政・運輸機関の連携により、新幹線高岡駅～観光～旅館を回る定期バスの実証実験が行われている。

このようなことで、庄川温泉郷を富山県一番のリピート率の高い観光地にしていきたいと考えています。皆様のご協力をよろしくお願いします。

（坂井会員の事前抄録は紫字：太字部分です。その他、添付資料あり：庄川水記念公園遊歩道散策マップ）